

地域間幹線系統確保維持計画（原案）に対する意見募集の結果について

令和8年4月10日付けで開催した印旛分科会に係る「地域間幹線系統確保維持計画」の決定にあたり、同年6月4日から18日まで計画原案に対する意見を募集したところ、多古本線（ジェイアールバス関東株式会社）について提出された意見及び検討結果は次のとおりです。

- 1 意見の提出件数 3件
- 2 意見の概要と検討結果 以下のとおり

意 見 の 概 要	検 討 結 果
①免許返納者への割引（運賃半額）制度の導入について JR バス関東では館山支店において、地域を併せて運行している日東交通との兼ね合いから「ノーカーサポート優待証」を館山支店管内限定で導入されているが、成田空港支店には導入されていない。 成田空港支店管内には、京成バス千葉イーストとの共同運行路線があり、京成バス千葉イーストと重複する区間やエリアも含まれていることから、京成においては千葉交通経営当時や成田空港交通経営当時と違って会社合併したことにより、ダイヤモンドパスやゴールドパスなどの高齢者全般向けの乗車券、ノーカーアシスト優待証の免許返納者向けの割引証、夏休みに子供向けに設定されている「こどもんどころパス」が旧千葉交通、旧成田空港交通の路線でも対象になる、定期券は区間式ではなく金額式 IC 定期券となって金額内であればどの区間も利用できるようになる、など、京成バス千葉イーストになって旅客サービスの充実が旧千葉交通、旧成田空港交通時代より大幅に図られていることから、JR バス関東とのサービス格差が顕著になりつつあり、国際医療福祉大学成田病院線では JR のみ金額式 IC 定期券が適用にならない、ダイヤモンドパスやノーカーアシスト優待証が JR のみ使用できないなどの問題がある。そのため、成田空港支店管内においても館山支店と同じ「ノーカーサポート優待証」を導入することによって、京成バス千葉イーストとの兼ね合いで発生している上記の課題を解消して、千葉県内 JR バスの乗車券制度を統一されてはどうか。ご検討をお願いします。	ジェイアールバス関東(株)に確認したところ、「御提案いただいた「ノーカーサポート優待証」の成田空港支店管内への導入につきましては、現時点では対応が難しい状況である。 一方で、交通弱者の利便性向上につながる取り組みであることは認識しているので、今後社内にて前向きに検討していく。」との回答がありました。 いただいた御意見につきましても、千葉県バス対策地域協議会印旛分科会で検討しましたが、令和9年度地域間幹線系統確保維持計画については、原案のとおりとさせていただきます。

意 見 の 概 要	検 討 結 果
②高校生への定期券購入の助成制度の導入について 県内では大網白里市、白子町、長柄町、長南町、南房総市など、高校生や大学生の路線バス通学の定期券購入に対して、助成制度を導入している自治体があることから、芝山町や多古町など本路線沿線の自治体でも導入を検討されてはどうか。	沿線関係市町に確認したところ、「費用対効果及び他路線との公平性の観点から、新たな助成制度を導入することは難しい。」「財政状況を鑑み現時点では難しい。」等の回答がありました。 いただいた御意見につきましても、千葉県バス対策地域協議会印旛分科会で検討しましたが、令和９年度地域間幹線系統確保維持計画については、原案のとおりとさせていただきます。
③八日市場駅～匝瑳高校下間回数券の周知について 八日市場駅～匝瑳高校下間の専用回数券は高校生にとって非常に利用しやすく、バス利用のきっかけになるせっかくの制度なので周知を図っていけるとよい。	匝瑳市に確認したところ、「路線バス利用促進のチラシは、運行事業者を確認し、本路線バスで実施しているサービスを全て記載した上で作成し、配布している。なお、回数券については、令和７年３月３１日をもって、販売を終了している。」との回答がありました。 いただいた御意見につきましても、千葉県バス対策地域協議会印旛分科会で検討しましたが、令和９年度地域間幹線系統確保維持計画については、原案のとおりとさせていただきます。